

6~8

停

大八

受領一六四〇五

共

符

〇四六三七

天一號作戰部隊

機密第〇八一三〇回香風

二分ノ二二

沖繩方面根拠地陸軍陸軍機動隊第四師

七日夜ヨリ上青遠井一線以下一帯各隊之等所込班ヲ以テ方面ニ小規模ヲ  
掘浸潜入セシメテトコロヨク回以戦車一給碎リテ戦果ヲ得テ敵ヲ攻メ  
アリシ飛行機場北方面内ニ約七〇名腫脹中ナシテ発見手榴彈二五以上  
投ジ之ヲ紛殺セリ  
戦果 乗員ヲ含ム 敵殺傷八〇〇名  
被害 戦死二 戦傷一

東進駐

本軍機動隊字號ヲ以テ機動隊

於一六、三九八五、七、七〇、七

仙波(岩田)

局長	〇名
一等兵	〇名
A	〇名
B	〇名
E	〇名
J	〇名
Q	〇名
D	〇名

三三三

628

六八 受信一六三〇 野丁一七〇〇 野〇三九七八 作編〇

至 念



大島防備隊

● 沖 根 ▲

後 密 寫 〇 八 一 四 〇 五 番 配

發 沖繩方面根據地隊司令官  
宛 大島方面防備部隊指揮官

御差任以來貴方面防備ノ任全セラレシ御勞苦ヲ多トス今ヤ戰局ノ推移  
ハ益々任務重大ヲ加ヘントスルノ秋貴部隊員一同ノ御健闘ト清武ヲ新

通 〇 三 三 三 才 十 六 ( 九 八 三 〇 KC ) 佐 二 次 日 高 ( 阿 波 )

六

一〇九 受信二八三〇五

丁〇九三〇

電自〇〇四八七〇七 作明

共 符



東京、横須賀、吳、舞鶴、佐世保各通信線

機密第〇八一四五一番電 六分ノ一、五四六

海軍省軍令部

海軍省軍令部 海軍省軍令部 海軍省軍令部

完成事前、海内生活ニ切替其人ノ不工合ノ點ヲ檢討シ置クノ要アリ

電力確保、海内生活ニ於テ電力ノ確保ハ必須條件ニシテ照明線

發送受信装置等ハ其ノ大ナルモノナリ之ヲ 外ヨリ架空線ニ

地下「ケーブル」線ニ通シ供給スルトキ

通五二〇三 五二〇二

於一六(五二〇〇) 佐通

清水(久保)

(一)

(2) 運輸関係の改修開始の我海上  
交通ヲB-24=テ 乱更=

設所見 (以下六分ノ五)

困難ナリ之ガ対策トシテ後ノ入口ヲ多数設ケ又入口ニ傾斜ヲ  
モタシノ且入口ノ高低差ヲ利用スル換氣法モ一方法ナリ出來  
得レバ造船ノ(エア・イトクンク)式トナスヲ可トス

(白)居住施設

居住施設トシテ儘ノ確保ハ肝要ナリ更ニ「シラミ」「ノミ」  
「カ」ニ備スル対策ヲ考慮スルヲ要ス特ニ「ノミ」ニ依ル設  
力減耗ハ著シトモノアリ

(四) 救護施設

敵ノ制海制空及陸上砲火ノ制壓下ニ在リテハ生活一切ヲ同一  
壕内ニテ備シ得ル如ク施設ノ要アリ又飲所高速飲料水源ハ同  
一壕内ニ設置臨時ニ飲可能ノ状態ニアラシムルヲ要アリ

前研究ノ要アリ  
ニ 運輸関係の改修開始前ヨリ我海上交通ヲB-24=テ 乱更ニ

改修開始セバ先ツ道路更ニ自衛軍大發射ヲ確保(六分ノ六)  
特ニ小型發電機及動力機械ノ確保ハ肝要

四 偽装ハ一時敵ノ目ヲ欺クコト可能ナルモ綿密ナル敵ノ偵察  
ニ對シテハ何等役ニ立タズ必要缺クベカラザル物資貯藏施設ハ壕

内ニ格納スルヲ要ス。

(電信線) 本電六分ノ三五未整)

攻路開始セバ先ツ道路更ニ自衛軍  
大發射ヲ確保(以下6分6)  
特ニ小型發電機及動力機械ノ  
確保ハ肝要

六

一〇  
受信一〇九二五

丁一〇五二

電〇四九三六

作 訓

送

共

符



● 東京、横須賀、吳、佐世保、舞鶴各通信線

機密第〇八一四五一番電 六分ノ二

砲爆下ニ於テハ忽ニシテ切斷然モ其ノ修理ハ夜間ノマ可能ニシ  
テ然モ其ノ箇所發見ハ困難ナリ依ツテ同一工場内ニ二箇ノ發電機シ  
設ケルコト肝要ナリ之ニ關聯大電力ノ工業地帯ヘノ發電ヲ速ニ防  
空的ニ施設改良ヲ要ス應急用トシテ「キロボルト」ヲ供給シ  
リタルハ大イニ役立チタリ

① 通風装置工場内生活ニ於テハ通風不如意ニシテ衛生的見地ヨリ見テ  
モ長期抗戰

〔電信課註 本電六分ノ一、三四六既配布〕  
六分ノ五未着

通五四〇六 於一六( B ) 佐通 田中(久保田)

1674

6~10

一〇 交前一〇一五  
 一〇 交前一一一五  
 一〇 交前一二一五  
 一〇 交前一三一五  
 一〇 交前二〇一五  
 一〇 交前三〇一五

一〇 交前一〇一五  
 一〇 交前一一一五  
 一〇 交前一二一五  
 一〇 交前一三一五  
 一〇 交前二〇一五  
 一〇 交前三〇一五

一〇 交前一〇一五  
 一〇 交前一一一五  
 一〇 交前一二一五  
 一〇 交前一三一五  
 一〇 交前二〇一五  
 一〇 交前三〇一五



一〇 交前一〇一五  
 一〇 交前一一一五  
 一〇 交前一二一五  
 一〇 交前一三一五  
 一〇 交前二〇一五  
 一〇 交前三〇一五

一〇 交前一〇一五  
 一〇 交前一一一五  
 一〇 交前一二一五  
 一〇 交前一三一五  
 一〇 交前二〇一五  
 一〇 交前三〇一五

一〇 交前一〇一五  
 一〇 交前一一一五  
 一〇 交前一二一五  
 一〇 交前一三一五  
 一〇 交前二〇一五  
 一〇 交前三〇一五

8-1

八 受信二二五六 詳了二二〇五 電二四二四 作機〇  
詳始二二二〇

停

神

板

高

雄

通

機密第。八二五四五番電

發 台灣軍務部長

台參電第三一〇號

一 球部隊ト首軍司令部ト連絡中絶以來球部隊同  
係、電報送達ニ因シ多大ノ御協力ヲ頂テ感謝ニ  
堪ヘズ

六 目下首軍司令部ト球部隊ト連絡ハ航空系ヲ以テ時  
時可能ナルモ電報ノ疎通意ノ如クナル狀況ナラバ以テ  
緊急電報ニ限り依然貴方ヨリ同送願度者向テモ  
貴志承リ度。

四三七 才十六(九二九)佐通 山本 (矢野)

大 八 陸軍部一九二〇年 丁一九三二 陸軍部一九二〇年 陸軍部一九二〇年 陸軍部一九二〇年

作戰要急



● 沖 龍 根 △  
● 聯 合 隊 隊 口

● 共

符

秘密第〇八一六四八番電 二分ノ一二

發 T F B 參謀長

宛 沖 龍 方面 根據地 隊司令官

手榴彈要急投下ノ八〇一空襲攻三機發進ノ内一機ハ投下前ニ擊墜セリ  
シタルモノノ如シ(二機ハ〇二一三及〇三三〇豫定投下地點ヲ確認)  
一機ハ標示燈ヲ確認シ、一機地形ヲ確認シ、上投下〇七〇迄ニ到着  
セリ 一六面八 機行手榴彈數計一〇八〇發ニシテ投下ニ成功セ  
シハ七二〇發(二四箱)程度ト認ムルニ付豫定投下地點附近搜索アリ  
通電三九七 區區一二 於十六(七六〇) 偵察、大塚(機口)

6~8

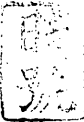


6~8

六八 受信一九一六  
開始二〇〇〇

終了二〇五〇 電〇四〇四九

航作  
本本 〇



秘密部〇八一七〇七番電

① 第一機動基地航空部隊・大島防備隊  
② 喜界島航空基地

一、本日ノ夜襲状況 ○六時八ヨリ警戒開始以後時々P/Uノ音内外  
本島上空ニ飛來ナルモ皆來ノ如ク軌跡ニ上空ヲ旋回スルコトナク單  
ニ通過スルノミニシテ在空中間短クP/Uノ外PBニ延三機  
飛來セリ一五五〇以後P/U一機ノミ  
二、飛行場ニ機爆撃 午後P/U一機ノミ  
三、結果被害ナシ

四、九二〇友軍機(四式機)ヲシキモノ(一八機六〇度)ヨリ飛來〇九四  
一〇(四)ノ方角ニ去ル 一七一五。  
五九 於十六(七八七)一(一)月(森 E)

8~9

大 八 受 始 二 三 二 〇 五 〇  
丁 二 三 四 五  
〇 〇 四 一 七 六 九  
本 〇

素 金 沖 根 A



秘 録

● 天一 製作 既 既  
機 師 〇 八 一 八 〇 一 番 電 二 分 ノ 二

(一) 本日モ昨日同様天候良好道路ハ乾燥シツツアリ午前敵機來襲大イ  
ニ活潑ナリレガ午後著シク低調トナレリヲBヲ延三五、Bヲ二〇  
ハ〇四〇一ニ計 機内攻勢ケルモノ二三機午後ヲBヲ八Bヲ二〇  
ハ何レモ攻撃セズ敵機ハ奥サ方面ノ陸軍陣地ノ攻取ニモ餘ギ支揚  
ニ任ジルモノノ如シ

五 一 七 三 〇 嘉手納沖 B 二 〇 三 〇 一 五 〇 約 五 〇 那覇沖 B 大 米 満 沖 B 一 〇  
〇 二 〇 五  
五 六 〇 呂 一 〇 四 九 一 五 〇 佐 二 成 高 田 武 蔵 八 兩 各

6-8

大 八 受信 二一四〇一

丁 二二四〇電 〇四〇九五 作 艦 〇

大 島 防 備 隊

緊 急

沖 根 P



機密 〇八一七一八 号

暗 號

長期 激烈 ナル 戦況 下ニ於ケル 後 倭 艦 隊ニ 絶大ナル 戦果ニ 感謝 感激  
ニ 堪ヘズ 當 方面ノ 防備ニ 關シテ ヲク 閣下ノ 御 高意ニ 極シ 意 奮 勵 努  
力 努メテ 御 期 守ニ 竭ス ンコトヲ 期シ マン アリ 當 方面 部隊 一同 士 氣  
振メテ 肝 懸ナリ

通 四 五 二 二 才 一 六 ( 九 六 九 〇 B ) 佐 通

富 田 ( 田 中 )

傍

六八 電信二一四五 譯始二二一五 譯了二三一〇 電〇四九〇 作既

青 沖根

冬 冬通

機密第〇八一八〇七番電 三分二

音流

久米島隊密力〇六一四三〇番電作成  
新込隊編成ニ三〇高月、敵重火器陣地ニ突入敵ニ多大ノ損害ヲ與ヘタルモ全員壯烈ニ戦死ス  
三後部隊ニ四〇〇アヲ部落北方高地ニ移動三日未明迄  
對峙更ニ同部落原北方高地ニ主力ハ陣地構築未四月五日ヨリニ毎夜下士官ニ長タル新込隊編成敵陣地並ニ兵舎ニ斬込多大ノ損害ヲ與ヘツルアリシガ四月十二日猛砲射撃ノ通四七四 於一六(九六〇七)係鎮守隊通

山平(原)

掩護下敵ノ攻果ニテ中隊以上ナル之ニ多大ノ損害ヲ與ヘ  
 要退セルモ我亦多数ノ戦死傷者ヲ出シ部隊長梅澤少佐  
 (石足殿傷)以下約100名トナレリ  
 四爾後各所ニ斬込ヲ續行シ備セテ神繩島ニ連絡員ヲ派シ

(電信課註 本電 三分一ニ未着)

(2)

六 一〇 文信始〇〇八五五 丁一〇五〇 電〇四九三七 作電〇

至 急

● 陸無線艦所用共通符號

傍

● 二海防隊7・1 陸衛隊隊口・1011 艦隊A  
 ● 鮮南方面護衛部隊・鎮海警下

機密第〇八一八五二番記 四分ノ四

三 漢方面ニ關シテハ輕ロケツト彈發射時直ニ變形セル爲狼狽照準ヲ誤  
 リタルモノト認ム。

(電信課註 本電 四分ノ三ニ就配布  
 第二海防艦長)

通五三五六天二Bヶ十二(B) 兵 ハギバ(飯田)

6-9

六九 受信〇四四七 譯了〇六二〇 電〇四三一

作 務

至 急

停

④

六一號作戰部隊

④

共 行

機密第〇八二〇〇五番電

二分一

五〇號

沖根聯合陸戰隊戰報第七號

一、眞玉橋部落方面ニ派遣セル三名五組ヨリナル斬込班中  
水兵長山口閑男、班長敵中深く潛入七日夜常引車  
一物蒐集積所ニ留所ヲ爆撃更ニ歩哨三名ヲ殺傷シ  
歸ニ自動小銃一同彈藥彈匣三七傷痕隠シ 獲セリ

（電信譯注 本電ニ合ニテ書ク）

上 函

通 四七三〇 於 十月一（七六九〇）(北) 解 答 休 假 (一週)

6-9

六九 受信〇七二〇 譯了〇八五二 電〇四四一五 作  
 譯始〇八〇四  
 至急  
 〇 天一號 作戰部隊  
 〇 共 符  
 機密第〇八二〇〇五番電 二分、二

偽カ

二、新込ニ對スル所見

敵ハ新陣地ニ侵入セル當夜ハ、敵ハ主トシテ一〇米間  
 隔ニ歩哨ヲタテ其ノ警戒嚴重スル狀況ニ於テ正攻法  
 ヲリスル新込乃至夜襲敢行スルハ徒ニ損害ヲ増スルニ  
 シテ效果少シ依リテ新込ハ敵侵入豫想セラルル地點ニ  
 豫メ潜伏セシメ置クノ敵ノ後方陣地ヲツクシムルトモハ效果  
 極メテ大ナリ

一項ハ前者 二項ハ後者ノ好例ニシテ今後、新込法ニ  
 對スル一指針ト認ム

二電信課長 本電二分、一既而布ニ

通四八三七

於於十六 (十六九〇K) 留之

案(理用)

60-9

六 九 受信開始 〇〇 〇三 〇四 丁 〇二一 五 〇 〇一六八 作 〇

傍

高 送

共 符

密號

機密第〇八二二三七番電

愛 沖繩方面根拠地隊司令部官

布 第一〇方面公署長

通 報 司令

基 礎 第三二〇隊電返

極力努力但シ各方面戰況逼迫シテ司令部ノ通信杜絶ハココ日ト  
別斷セラル尙之ニ代ヘルニ福吉海軍大佐ヲ獲トスル派送通信隊ヲ喜  
慶式ニ關シテシナルニ付司令部通信杜絶セバ之ト連絡セツレ

六三六

於一六三九〇(〇)〇二

小 林 (久保田)



6-9

六九 受信〇一〇九 丁〇二〇〇 電〇四一五二 作信〇  
開始〇一三〇

共 符



天一號作電部

機密第〇八二三五〇番電

球司令部

沖縄方面根拠地隊聯合陸隊隊員退却第八號

一、平良高安方面敵約一六〇偽保隊地ニ攻撃シ來リ攻隊ノ後二〇三〇退  
退セリ人員受信約一〇〇敵兵ノ大部ハ支那人ニシテ捕縛者ハ支人  
ナリ尙尙軍ナル日本語使用

三、小隊部隊ニテ機密セシメタル機密第一五圖各一々夏ニ攻隊機密上  
中 二三〇〇

機密六二三 機密六六 (九六九〇機) 沖電 山下 ( )

作戰緊急

作

著

鹿屋航空基地

著

宮崎航空基地

類

天航空部隊戰闘概報着信機所

機察等〇九〇五一二番電 二分一二

七六二部隊戰闘概報第一八號(六月八日)  
 沖繩周邊敵艦艇夜間雷擊銀河隊四機(内一機不明)發進  
 直後故障、急着降(一九二〇)七石重爆三機(内一機不明)一  
 九三〇宮崎基地發進銀河一機二四二地點トハ二午二於  
 戶船種不詳、入型解船一機對子車照明雷擊命令中下火  
 撞破機一機(佐々木大尉)二一五感度リリタハ以後消息不明  
 未歸還一機發進機故障引込ニ明瞭着陸入破重爆擊隊二一  
 四〇地點リリキ三スニ於テ敵發見照明セリ攻撃ニ間ニ合ニ機  
 共對空砲火ニ對シテ無照明雷擊一機效果不明一機發進  
 二四〇〇迄ニ銀河一機、外全機歸着

海四七四七 第一日七十一(七八七五)二六午日放 長尾(五日)

六九 譯始〇九二五 〇四三九二 範本

六九 受信一二二七  
談始一二四〇 歌一四三〇 電〇四四三七  
航作 概本〇

作戰緊急

(作)

(若)

天航空部隊作戰命令着傳機所  
藤枝航空基地

(若)

岩川航空基地

機第〇九〇九四二番電

岩川 芙蓉部隊指揮官

通報 中六航空航空隊司令

十月十日以降天候許々在奄美上空ニ放テ航空燈ヲ点去セ  
ル敵夜戦ノ掃蕩戰ヲ實施味方航空部隊ハ之ヲ裏退上  
空附近ニ於テ航空燈ヲ消シテ通過セリ使用機種機数制  
空時向ノ順

星夜戦三機以内〇二四五ヨリ〇三二五迄  
零夜戦四機以  
内〇四三ヨリ〇五一五迄

三四八三八 三二五十二七八七五(FC)一KFGB  
不(改版)

6-9

六九 開始一七二六二 丁一八一四 〇四五一八

共

符

透就作 政本〇



設 沖縄方面に據地隊司令官  
宛 〇〇〇〇参謀長

二日ニ亘ル挺身物量檢査ニ對シ感謝ノ外ナシ各地火災發生地點陳列ニ  
困却セルモト搭乗員ニ對シ感謝申上ノ當方萬策ヲ盡シ信認及消火ニ  
努メタルモ發見困難ニシテ餘力無ク之以上ノ物量投下ハ收容困難ナル  
ニ付取止メラレ度貴隊ノ協助力ヲ感謝ス。

通五〇二八 於一六( ) ( ) 佐透 小林(小 帽)

6-9

作 九受信一四〇七  
譯始一四三五

譯了一五三五 電〇四四五 作機〇

作

着

天航空部隊作戰命令着信船所

發

岩國航空基地

藤原 喜界 各航空基地

機密第九一〇四六番電

岩川 美奈部 隊指揮官

明朝 夜戰隊 作戰要領 任務 機密 作戰要領 全進

時刻 (順)

一 航空隊 聯習 三 奄美 大島 航空 三 今間 〇 三 航空 隊 開 要

二 伊江 基地 攻擊 習 四 奄美 大島 航空 三 今間 〇 〇 四 五

三 中 敵 攻擊 海 面 霧 戰 四 型 各 二 岩川 一 四 〇 度 〇 一 七 〇 度 開

開 廣 〇 度 進 去 距離 一 五 〇 哩 〇 三 〇 〇 以 後 飛 進

通 〇 八 〇

品 〇 五 五 ( 〇 〇 〇 〇 ) 一 下 午 〇 日 機 〇 ( 京 )

大 澤 〇

6-9

六九

支始一八七〇〇

丁一八三〇

〇〇四五二九〇

作

新編



● 天一編作戦部隊

● 無敵監所用共通符號

機密第〇九一一二〇符號 二分ノ二

沖繩方面根據地暨聯合陸戰隊戰術速報第九號

一〇六〇〇頃ヨリキ保高地ハ激戦地トナル敵高安ヨリ増援ヲ得ツツアリ  
リ〇九〇〇現在約二〇〇

三平良及一〇八・九高地ノ敵約五〇宇榮田ニ侵入

三敵〇七〇〇頃ヨリ戦車二輛ヲ差部ヨリ進出セウ波川東岸道路ヨリ西

岸ノ我陣地銃砲轟中

四小口夕部落高地ニハ迫撃砲陣地アリ敵約四〇〇ハ戦車五ヲ伴ヒ豊見

坂ガイドウ突破ヲ策シアリ

五〇八〇〇現在西方敵線ハ金城西北高地金城赤ミネ南端高地宇榮原西

通五〇三九・五〇三八 於十六(九八三〇) 匠二故 小野寺(飯田) (一)

部高官被具赤旗ニシテ正面ノ以約一五〇戰車約四〇ニ對シ戰車數化  
シツツアリ

大才長西岸ニ上陸セシ水陸兩用戰車約二〇兵力ニ對シ〇五一五頃四〇  
機ヲ以テ物量ヲ空ニセリ  
七約四〇輛ノ貨車明治橋ヲ往復數回ナリ。

大九 戰車二八三輛 自了二二二七 至自六三二九 作



● 天航空部隊戰況報告信監所

機密第〇九一四一一番電 四分ノ一三三

陸軍省戰況報告 (六月九日〇八〇〇)

一 彩雲二機 (一機引返) 一〇〇〇頃發進一五〇〇頃沖繩周邊偵察  
伊江島西方約一〇程ニ戰艦一隻巡洋艦二隻慶良間列島内大型輪  
送船一三隻中型輸送船多數中城灣輪送船三隻運天港附近。三隻  
ヲ發見那覇沖艦船ヲ認メズ漢川沖艦ノ爲偵察不能  
二 一三一五ヨリ一三三五迄敵小型機約二〇五機南九州地區ニ來襲  
(敵機ニ依リ母艦位ニ一部基地ヨリ來襲セルコト判明) 鹿屋港  
地周邊基地掩体機飛行機銃塔等 砲果地上砲火ニ依リ艦隊七機

通五〇三〇・五〇三五  
五〇四五・五〇七四

呂一八分十二(一〇二六五)五〇〇〇

高シシ后 共機 (五) 谷

6-9

破八機 被害美上一〇機中破一〇機  
三彩機二機炸電二機一六二三迄ニ各美大島南東方海面ハ散ヲ見ズ  
視界二〇乃至三〇哩

四沖繩周邊艦隊攻撃ノ爲メ河三重爆三天山砲臺ハ一九三〇  
リ二二四〇迄ニハ發進攻撃確認セラルル果大火災騒動不詳大型一  
隻監視不詳二隻出撃效果不明（現艦隊ノ戦果未着）甚難攻撃ノ  
爲陸攻三水夜戦一〇（内三機引返）〇七一〇迄ニハ發進攻撃  
果水夜戦三機攻撃何レモ大火災其ノ他未着被害銀河一機陸攻一  
機水夜戦三機未歸還（瑞雲隊ヲ含マズ）  
五零夜戦五機〇三〇〇迄ニ發進都井岬南西索敵攻撃隊ヲ見ズ。

急念

停

天一號作戦部隊

機密第〇九一六三六發電

六月四日以降七日迄ニ於ケル海軍部隊戦闘ニテ確證セル戦果左ノ通

- 一 砲撃及陣地攻撃ニ依ルモノ
- (1) 人員被害約一一一〇名
- (2) 砲臺機銃一機同破一機
- (3) 破壊セル兵器其ノ他戰車五迫撃砲四車四機銃二基合四
- (4) 遺棄物込ニ依ルモノ
- (5) 人員被害約二三〇名
- (6) 破壊セル戰車其ノ他戰車四（命中彈一紛碎）迫撃砲二發引車一機
- 機六基合二

通五、五六 於一六（九八三〇）佐二放 山崎（半）

6-9



○ 遊自動小銃二挺ノ他戰車砲彈機銃等及眼鏡等

三 肉攻ニ依リ戰車被破五

四 右砲臺ニ得ザル戰果發信ニ達スル見込。

六 九 受信二〇四八 射丁二二三一 電〇四六四五 作 術  
開始二二〇九

至 急

沖 根



密第〇九一七一〇番記

六月二日乃至三日長下嘉敷根差部方面ニ於テ陸軍機進支援ニ任ゼシ  
高崎大隊ノ攻メタル戰果ハ判明セルモノ人員殺傷二日約八〇名三日  
約七〇名尙我々方被害人員一〇〇名ヲ出セリ。

通三一六一 六一六 (九六九〇) 山本 (小川)

6-9



大 一〇 受領〇〇二五〇〇 丁〇二五五 〇四七七九 作

停

天一號作戦部隊

機密第〇九一八一六番

(一) 本日天候良好本日も敵機ノ來襲午前多ク午後少シ即チ午前ハ  
延二六・四四・四四・四四六午後ハ六・四四延一二・四  
八午後ハ何レモ攻撃實施セズ戦國機ハ例ノ如ク長期間(最大五時

間半)頑張レリ

本日ハ珍ラシク朝ヨリ戦艦三隻共嘉手納沖ニ集結シテ那覇沖開  
散ナリ一八〇〇嘉手納沖ニ三〇一〇一ニ約五〇那覇沖〇一〇二  
滿沖〇三〇二

通五三一四 於十六(八九六九〇四)報ケケ谷 武藤(増田)

6-10 0021



1702  
1-9  
1702

1702

1702

1702

1702

1702

1702

1702

1702

1702

1702

6-10

至食

六一〇 開始一一〇三〇〇 丁一一二五 〇四九五二

天 一 編 作 戰 部 隊



機密第一〇〇〇三二番電

沖繩方面根據地聯合國戰隊戰報第五八號 (六月八日)

六 戰 隊 經 過 概 要 概 報

二 確 認 之 戰 果

(1) 銃砲陣前戰隊ニ依ルモノ人員約四〇〇名殺傷 貨車六基合三

自動小銃三破獲輕機銃二自動小銃一函獲

(2) 斯必隊ニ依ル人員約七〇名殺傷貨車二基合一輕機銃一破獲輕機銃一

二自動小銃三手榴彈二函獲

三 五 被 內 攻 奇 襲 傷 者 一 依 三 五 九 六 九 〇 日 以 後 計 死 傷 九 七 六 田 〇 〇 三 二

6-10

六一〇 受領〇〇八七四四 丁〇九四六 電〇四八八八七 作標本〇

作戰緊急

● 鹿屋空基地

● 宮崎空基地

● 天航空部隊戰國混報若信機所

機密第一〇〇三四七番電 二分ノ一、二

作

通報 六航軍 戰國混報第一九號 (六月九日)

中 繩周邊敵艦船夜間雷撃ヲ實施 重三機一九五〇第七戰隊重機隊後

四機(内一機故障ノ爲着陸)二一三〇官崎基地發進九八戰隊ハ給中倉

美大島附近ニ一機故障ノ爲着陸(天候不良ノ爲着陸)附近ニ一機故障ノ爲着陸

不時九八ヲ一機機内照明裝置故障ノ爲操縦ヲ誤リ飛行場東方海上ニ不

時着 機体沈没人員一名輕傷二名行方不明目下搜索中 天候急變大島

西方附近ヨリ霧最下〇雲頂一五〇〇米雲高五〇〇乃至三〇〇米伊江島

北方雨視界狭小ナリ

五三四一 呂一〇ケ十二(七八七五〇)一五〇〇放

五三四七 菅原(山中)

6-10

六  
一〇  
至  
急

受信一三三五  
開始一三三七

一五四五

電〇〇五〇〇三

航作概本〇

岩川航空基地



天航空部隊作戰命令着信讀所・關東航空隊

機密第一〇〇八五二番電 二分ノ一、二

天幕部隊戰開概報第三二號 (六月十日)

一、彗星九機零戰六機檢定作戰ヲ實施

(イ) 伊江島攻撃彗星四機〇一四五迄ニ發進天候不良ノ爲引返ヒルモノニ機一機離陸時大破一機(田中大尉)突入ヲ報セルマヽ未歸還

(ロ) 奄美大島上空制壓彗星三機零戰四機〇一三〇及〇三三〇發進〇六二〇迄ニ全機降着

(ハ) 彗星零戰各二機檢定索敵ヲ實施セルモ敵ヲ見ヌ〇六〇〇迄ニ全機降着

三、戰果夜戰空戰ニヨリ敵夜戰一機墜陸(不確實)場所スツセ

通五五  
四二〇五

呂一〇〇九二二(七八七五)一KFGD

小澤(イ)



三 被害伊江島攻撃ノ翌日一機未歸遠大破二機  
四天倭奇襲以南雲量五<sup>P</sup>一六視界二一三哩  
五 敵夜戰狀況

(イ) 本朝〇二〇〇〇ヨリ〇四〇〇〇迄ニ敵動向ヨリ西方ニ於テ遭遇セル敵

夜戰延<sup>P</sup>〇

(ロ) 敵夜戰ハ概ネ五機ニテ行動飛行高度二〇〇〇一三〇〇〇航空機ヲ

點出セリ。

六一〇

受信一四四三

丁一五三四

電〇〇五〇〇六五

航<sup>作</sup>機<sup>本</sup>〇

作戰特別緊急

● 沖

根

△

● 共

待



機密第一〇一二一七番電

二分ノ一二

發 六流軍參謀長

球參謀長ニ傳ヘラレ殿

二十日一三〇〇九七式対爆三機ヲ以テ強行着陸決定(從來ノ空襲モ

續行)

三 着陸決定地域(使用地四五萬分ノ一)

(イ) 州 地各西側喜原武北側名城東南側ノ内方地域

(ロ) 豫備地域長方ハ並平伊豫同方地域

三五四六四

子十六

(七六九〇五) 佐通

山本

(阿波)

(山)

6-10

三 地上海軍（飛行機進入ハ何レモ爾ネ三〇〇度方向）  
 (1) 米軍一名機ケ道及之ニ沿フ方向二〇〇米間隔ニ三條（一線ニ各  
 ＊三點英）

(2) 米軍北側五二高地上リ北側七二、三高地山頂ニ砲火  
 (3) 準備 内無砲ハ米軍ノ名機場ニ沿ウ環状同ジ

四 搭機名ハ要軍要索ノ通トス  
 五 本電受領セバ返。

六 一 一 受領 一三〇五七 丁 一四二〇 五五九〇 作 〇



一〇一三〇〇



九日 泊状況  
 本朝來機状況 編隊中  
 敵艦來機状況 〇六〇〇一〇九〇〇間延一〇枚機エレナ観測機ヲ主  
 トシテ海上観僅少ナルハ特異ナリ  
 又天候概一〇スキマナシ層積雲高ニ〇〇米シテイ七杆。

【電信課註 本電一ナリ】

五九七五  
 五八六一

協作 (B) (佐)

高橋 (小)

6~11

6-10

六一〇 受信 始 一六五〇 丁 一七四〇 五〇一九 航作 本機 〇



作戦緊急



天航空部隊作戦命令通信所

無線機所用共通符号

機密第一〇一六〇二番

通信命令第一七六號

夜間攻撃部隊ハ急遽兵力整頓、練度ノ向上ニ努ムルト共ニ指揮官所定ニ依リ一部兵力ヲ以テ沖繩方面攻撃ヲ續行スベシ。

通五五〇四 呂一Bヶ十二(七八七五)一Kヲ放 末光(小川)

6-10

ITLT

六一〇 受信二二二〇七八 詳丁三三三三三 電〇五一四四 筑作 本機〇

緊急



● 天一船作戦部隊

● 六島防備隊

秘密第一〇一七五八番電

午後會津高 埼西方ヲ北上セルモノハ四四一四 F六八一〇機  
一四二三小型機四南下セルモノ一二三四四四八 一五一五フ四四  
八 一六二八フ四四一四 F六八一〇 一七一〇フ四四九何レモ  
針路南西内四機會津高埼ヲ繞幸午後ハF一四七七一機ヲ認メズ  
ス一一二五ヨリ一四四五間小型機十數機名瀬笠利灣方面ヲ航線察セ  
ル機アリ。 一七五八

通五七一二 於十六八九八三〇IC)佐二放 仙波(森 田)

大 一 一 授信 〇〇二三四五 〇丁 〇二五八 〇〇五二七三 作 〇

發 會

沖 根 P



天一 製作 隊部 隊

發 信 第 一 〇 一 八 一 日 電 二 分 ノ 一 二

發 信 參 照

(一) 本日ハ朝ヨリ我ガ見張所ハ敵迫撃砲ノ彈着下ニ入ル發砲射候又座ニシテ對空自衛ヲ續行スルコト能ハザルニ至レリ一般のニ見テ昨日ヨリ出現機數稍少ク其坐方位ヲ攻撃スルモノ多キガ如シ

日 一 四 〇 〇 ニ 於 テ 敵 艦 船 狀 況  
寫 手 船 沖 口 三 〇 一 〇 一 二 二 約 五 〇 那 須 沖 〇 一 二 米 滿 沖 口 三 〇 二 〇

通 五 〇 三 〇 八 於 十 六 ( 九 八 三 〇 〇 ) 在 二 故 清 水 山 崎 ( 兩 谷 )

6~10

1713



傍

● 津 根

● 佐 衛

● P

大 一〇 受領二〇五七 了二一一〇 電〇五二二五 作底〇

機密第一〇一八五五番電 二分ノ一、二

佐衛兵官

第三二軍司令官

球部電五六四號ハ暗號解讀不完全ノ爲全文ハ不明ナルモ御趣旨ハ充分  
ニ蒙承 海軍部隊ニ對スル軍司令官閣下御温情感激ニ堪ザルモ全般作  
戰上一部ノ部隊孤立スルモ已ムヲ得スト認メアリ 然ル所本府ニ於テ  
ハ部隊ノ現狀已ニ詳細不明 且戰況モ刻々變化スルモノト思考ヒラル  
ルニ鑑ミ萬事ノ措置ハ現地指揮官ニ一任致度御了承ヲ得度 切ニ貴軍  
ノ御健闘ヲ祈ル。

通五六六二

於一六(九六九〇)佐通

仙波(山中)

緊急

石垣航空基地

第一航空隊



第三基地航空部隊指揮官

第五基地航空部隊司令部方面飛行機配備基地

宮古航空基地

情報軍機秘

機密第一〇二二〇四番電二分ノ二

四 來襲ヨリ判断殆ド無視界ニ近キ悪天候ニモ拘ヘズ敵ハ三六機ノ編隊ヲ以テ來襲スル等ノ状況ヨリシテ米正規空母ノ艦上機群ト推定ス來襲避退方向區々ニシテ正確ヲ期シ離キモ七五度一五〇軒ニ最モ多シ。

（電信課註 本電二分ノ一未着）

通五九八二 呂一ヨリニ（七五六五）カニケ谷 林 猪 狩

6-11

1714

6-11

大 一 一 受領 〇〇五〇〇〇 丁 〇七二二 〇〇五三六〇九 本

緊急

佐

通

共

符



暗号

機密第一〇二二三三番

二分ノ一二

發 沖縄方面根據地隊司令官

第三二軍司令官

通報 軍令部(參謀本部) 〇〇長官 佐世保鎮守府長官

小島地隊ニ敵ヲ敗レ一週日ニ際シ御懇電ニ接シ感激ニ堪ヘズ海軍部隊

ガ隊軍部隊ト合流スル能ハザリレハ眞ニ己ヲ得ザルニ出テタルモノニ

テモトヨリ小官ノ本意ニ非ズ從ツテ南北相分ルト雖モ海軍協力一

體ノ實情ニ於テハ聊カノ微動アルモノニ在ラズ今後ハ實情ニ從ツテ益

々雖チル持久戰ヲ以テ敵ニ大出陣ヲ強要セトス 尙觀察ニ就イテハ

勢ノテ正確中期シ確證セルモノノミヲ御報告ス。

通五八八六 五九〇一 於一六(九八三〇〇) 佐二放 山本、三山(杉本)



6-11

六一一 受信 〇〇七二〇 〇八〇三〇 〇丁 〇八四八 電 〇〇五三七九 作 概 〇

至急

傍 通

共 符

日 傍

機密第一〇二三五二番 二分ノ二

第一號作戰部隊 沖繩方面根據地隊 聯合陸戰隊

戰闘概報第五九號 (六月九日)

平良宇樂田方面及高安方面ヨリヌル敵ノギ保障地攻堅ハ朝來再ヒ活

激化一五二〇遂ニ同高地ニ敵約二〇〇名侵入ヒリ

ニセウ波川東岸ノ線ニ於テハ戰車二輛ノ銃砲聲ヲ見タル他著變ナシ敵

兵ノ一部ニ印度人ヲ認ム

三小嶽金城赤峯ノ線ハ連日激戰中

通五九一七 〇一六 (九八三〇〇 KIC) 佐二放 小林、森澤 (三石)

四 宇榮原具志方面敵ノ強壓増大夕刻敵ノ前線ハ宇榮原東端松川地ハ  
 伊良波ニ達スル  
 五 確認セル聯隊銃砲聲及陣前砲聲ニ依リ人員約三二〇名殺傷敵追撃  
 砲機銃陣地等五箇所砲聲復發敵車自動貨車七自動小銃三發撃破  
 銃二自動小銃六上函獲  
 六 被害者死傷者一四二。

大 一 二 受信 〇〇九三〇 丁一 二〇 電 〇六〇三二 作 機 〇

至 急 共 符

聯合陸隊口



一〇一四〇〇〇

球珍冠第九七號

北進ヲ止メ逃走ノ模倣ナリ本格的攻込開始ノ時機日中ニアリト判断  
 セラル軍ハ全砲兵ノ好適ナル統一使用ニ依リ少敵彈ヲ活用シ進時  
 所ニ敵ノ攻込準備並ニ攻込特戰車ノ進出ヲ撃破乃至撃退。

(東通駐 本電極メテ誤字多シ)

通大三四八 協作 ( ) (佐世保 小原) 雨 谷 ( )

6-12

6-11

六一

夏港0930  
秋始1011

秋1011

電0548

作時

至急

作

東通

東通

伍通

沖

根下

機密第一〇四五五番電

暗號

發 沖繩方面根據地隊司令官

宛 佐世保鎮守府長官 聯合艦隊長官 本官 次長

處 原航空基地 當隊發表、戰果、確認、モロミニシテ、造距

離射束、或ハ未帰還機身隊等、戰果ハ相當確實ニテ、想

サレモ、一切計上シテ、從中果計、比較的寡ナル事

實ハ、更ニ多ク、確實ニシテ、所謂政策的發表等、加味シ

通 五九八

一九六九比一覽、谷

森洋(五島)

六 一 一 受借 〇八五四 了 〇九二九 電 〇五三六一 作 〇

作

東

通・佐

通

共

符

後塔第一一〇七〇六番電

作

沖繩方面根據地除司令官

天一曉作戰部隊

戰況 〇三三 〇三三 〇三三 宇袋 田松川 地八方面ノ敵ハ本格的攻撃開始シ之ヲ  
陣前ニ激戦中。

通五九一二 才一六 (九六九〇) カニヶ谷 森澤 (松井)

11-1

六一  
一九〇〇  
丁二〇一〇  
五五五  
五五五  
本



海根聯合陸軍... 要務六〇號 (六月十日)

一、平良宇榮臣伊良波方面及高安ヲ保地ハ方面敵兵力次第ニ増加七四高

ニ近接午後ヨリ銃砲激戦展開ナリ

ニゼウ波川東岸敵陣地ニハ若妻ヲ圍メラレメケンシキ長ドウ舟道路

「トラック」ヲ銃撃相當ノ損害ヲ與ヘツツアリ

三小隊部隊ロリ一〇〇車ニ約五〇名見城道路ヲ南下シ来レ

四金城赤ミネ字榮園ノ線ニ於テハ我軍ヨリ行動遂次壓縮全兵力ノ一部

大死傷者一〇〇名(九六九〇)沖根

六一三三六一三三

11-9

作員特別緊急

六一一 受領一八五〇 歸丁一九〇五 電〇五五七 作紙〇



佐長・其系、陸軍陸軍地

秘密第一一三三七番電

宛 陸軍 陸軍長

運糧 次長 海軍 陸軍官 佐世保 守府長官

敵後方子攪亂又ハ遊撃隊ヲ遂行ノ爲指揮教ノ將兵ヲ遣使ス  
右形來ノ爲一官申送ス次同ナリ。

六一〇二 ア才十六(九六九〇K)カニガヤ 甲田(大龍)

